



なす・りょうこ  
／丘の上の料理  
工房「SARA」  
オーナー。デ  
リカテッセン・  
特産品開発・お  
料理教室・丘の  
上の幸せマル  
シェなど運営

この絵本は、1人の老人が水に囲まれた積み木のような家で、今はなき妻や娘、そして大切な記憶と共に暮らす話。子供だけでなく大人も心がじーんと温かく優しくなれる本で、無限大に広がる世界があり、おすすめです。

寝る前、息子に絵本を読み聞かせ安心して眠りに着く時間は、幸せを実感する時。この本を初めて息子に読み聞かせた時、感動して泣きながら読んだことを思い出します。あれから数年、あの震災後に読み返すと、大切な記憶や思い出と共に復興に立ち向かい前向きに

## 「Once upon a Home upon a Home」(つみきのいえ)



平田研也著  
アーサー・  
ビナード訳  
(白泉社) 1575円

生きる被災者の生き方に重なりました。

どのような状況でも同じ場所で小さな幸せを大切に、思い出と共に暮らす生き方。旅を続け、風来坊のふうちゃんと言われていた私にとって、今はここ沖縄が「つみきのいえ」となったように思います。原作アニメの絵本が英訳されたもので、日本語原文付き。絵の美しさ以上に心の栄養補給になる一冊。